

鎌ヶ谷市議会議員  
都市・市民生活常任委員会  
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。

鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466

HP 原八郎

検索



### 十六年間の政治活動の成果

市議会議員に皆様の御支援で当選させて頂き、十六年間務めさせていただきました。ご支援有難うございました。これまでの政治活動を振り返りまして、これまで取り組み、手掛け、実現いたしました主なものを順不同で掲載させて頂きます。

#### 一、予防医療・予防介護の施策

高齢化社会を迎え、医療給付費・介護給付費が毎年一兆円ずつ増加しています。年を重ねると、体のどこかしらが弱ってきます。人口減少と共に、高齢化が進み、このままいくと五年で健康保険財政は破綻してしまいます。

元気で健やかに暮らすためにも、日頃の生活習慣を健康なものにしていかなければなりません。食生活改善や軽スポーツ等体を動かし、ストレスを解消することを推奨してきました。十六年間、医療費・介護費の抑制に努力してきました。

#### 二、認知症予防 学習療法導入

「脳トレ、いきいきサロン」認知症予防教室を開始し十四年になります。現在、六十五歳以上の高齢者の認知症の人数は全国平均十六%に対して、鎌ヶ谷市の人数は九%です。全国に誇れる数です。予防事業の効果が顕著です。サロンにおいてください。

毎日、一五分から二〇分、読み・書き・計算をすることで、認知症に深くかかわる脳細胞、前頭葉の衰えを防ぐことが可能なのです。予防を目的とした教室です。東北大学の川島教授の研究から導入。実験教室四校。鎌ヶ谷五校目。実質一校目。十五年目を迎え大きな成果を得る。

教材がなくても、新聞で場所を決めて、三分から五分、声を出して読む。天気予報の欄に、最高気温と最低気温が載っています。これをたしたり、引いたりし、計算をすれば前頭葉は活性化されます。街に出たら、通る車のナンバーを足し算してください。ただし、交通事故には十分気を付けて

ください。人とたくさん会話をすることも大切です。一人で閉じこもらないことです。それが認知症の予防になります。

#### 三、乳幼児の子育ての大切さ

##### 「眼窩前頭皮質」成長の重要性

乳幼児は愛情を十分傾けて育てるべきです。誕生時の赤ちゃんの脳細胞は平均五〇〇g、三歳までに一二〇〇gまで成長し、最大二〇歳で一五〇〇gです。乳幼児期に脳細胞の大部分が発達してしまいます。

三歳くらいまでにしか発達しない大切な脳細胞があります。「眼窩前頭皮質」です。大脳や小脳で感じたり考えたことを総合的に判断をする前頭葉に情報を送るジョイントの役をするのが眼窩前頭皮質なのです。ここが未発達ですと、正しい情報が伝わらず、正しい判断や行動が出来ず、感情のコントロールや、行動の結果を判断できず、俗にいう「切れる」ことになり、事件を起こし、問題児となってしまう。

乳幼児期の愛情や、スキンシップ、つまり、「添い寝・おんぶ・だっこ・おっぱい」が大切なのです。「三つ子の魂百まで」と言われるものです。乳幼児期は、他人に預けず、親が愛情をもって育てるべきです。

#### 四、船取線の歩道、改良整備

歩道の真ん中の電柱を四本移動等。車椅子が通れない歩道を改善等。その他の歩道や交差点の改良、整備に努力。木下街道も歩道改良。

#### 五、スポーツ施設の増設や整備

テニスコートの増設、グラウンドゴルフ用広場、弓道・アーチェリー場の開設推進。

市民がスポーツをする機会を増やすことが市民サービスや健康維持に繋がり、医療費の削減につながるのです。スポーツをしましょう。

#### 六、市民ポストの設置

市への返送用の手紙（高齢者健康調査票、市民アンケート等）を公民館や市役所に設置した市民ポストに投函すると、切手代の節約になる。

#### 七、ジェネリック医薬品の普及

ジェネリック医薬品は、特許切れの医薬品で研究開発費負担がなく販売できるので五割から八割安く利用できます。

病院や薬局で申し出ることにより、ジェネリック医薬品に代える事が出来る。国民健康保険課の窓口でジェネリック医薬品希望カードがあります。

医療費の削減と自己負担の軽減もできますので、利用してください。医療費削減の為、普及に努力。

#### 八、分水嶺（界）モニュメント作成

まなびいプラザ、玄関前に設置。市民に作成費用をご寄附頂き、石組みのモニュメントを作成。市に寄附。

降った雨が三方向に流れて行く地点が鎌ヶ谷市にある。珍しい地理的遺産です。手賀沼・印旛沼・江戸川の三方向。二方向は全国に沢山ある。



## 九、職員の地域手当の削減

平成十八年の財政危機で私を取り組んだ財政改革の一つです。給与と別に支給されていた地域手当を一〇%から七%に二段階に分けて三%削減。十九年度九%、県指定の七%に二十一年度に下げました。年間合計、一億二千万円の人件費を削減できていくことに耐えました。財政危機から改善に大きく貢献。

公務員の地域手当とは、どのようなものかご存知でしょうか。給与の他に支給されている特異な手当です。昔は調整手当と言われたものです。民間企業との賃金格差を解消し、善き人材を集める目的で捻り出したものです。やがて逆転し公務員の方が高くなり、調整手当の名前が使えなくなり、地域手当と名前を変え、今も存続しているものです。地域により国や県の指定があり、鎌ヶ谷市は国の指定では六%です。

## 十、教材等購入、入札制度見直し

特定商品を一括入札していたため、代理店契約商品が含まれると、競争にならず、特定業者が一括納品になっていた。特定商品は随意契約として切り離すことにより、自由に入札に参加できる制度に変えた。

## 十一、委員会、審議会の委員の兼任の数を制限

たくさんの方が参加できるように、兼任数を最高五つまでに削減した。一人で十兼任していた人もいた。

## 十二、学校給食費の未払い七割解消

### 簡易裁判を実施

給食費未払の保護者が多数出てきたため、簡易裁判の活用を提案。それにより大幅に未払金を回収できました。義務教育なのだから、国が払うべきだとの主張。払う能力があるのに払わない保護者に対処。

## 十三、ピンポイントの運動

生き生きとした生活をし、この世を去る時は家族に迷惑をかけずにコロナと逝く。これが理想です。

## 十四、子宮頸がん予防ワクチンの危険の警告

ワクチンの副作用を予告し、接種をしばらく遅らせ、様子を見るべきと、議会で主張。対象年齢が小学6年から高校1年の少女であることから疑問を持った。

PHVウイルスに感染してはいけないことが条件である。つまり、処女であることです。男性との経験がないことが必要なので、本人が申告するでしょうか。誰が調べるのですか。無償で受けられますが、一人五万八千円かかります。全国一斉に接種する計画でした。副作用が各国で報告され、安全性に疑問が生じていました。

マスコミや、学者、国会議員で、反対を唱えた人はいませんでした。全国的に摂取して、子宮頸がんをなくそうとのムードでした。私はあえて反対いたしました。外国からのワクチン導入は、薬事審議会で審査をして、導入をするのですが、臨床実験など細かい審査に本来は五年ほどかかります。ところが、このワクチンは、なんと十三ヶ月で認可が下りました。臨床実験などは省いての認可でした。こんな事が許されるはずはありません。裏で何かが動いたと思われまます。

このように拙速に導入されたものにより副作用の被害が二千四百人ほど出てしまいました。被害を受けた少女をだれが救済するのでしょうか。今は接種する人は殆どいません。

導入を推進した人たちは責任を感じているのでしょうか。自分の行為・行動に責任をとれる人間であってほしいと願います。

## 十五、初富交差点の歩道整備

東武鉄道の高架下の残地を歩道にすべきと運動をし、実現する。安全性向上。

## 十六、子宮頸がん検診の推進

女性特有のがん検診（乳がん検診、子宮頸がん検診）受診率が三割に満たない状態。原因は男性の医師やレントゲン技師に見てもらおうのが恥ずかしいから。

それならば、医師法の改正をして、女性の看護師に特別研修を受けて、検診できる制度にすべき。欧米では八割近い検診率です。受診率を日本も早く上げるべきです。

子宮頸がんはウイルス感染し、運悪く潜伏してしまうと一〇年くらい経て、前がん症状が現れます。五年ほどしてガンに進行します。この五年間の内に検診をすれば、早期に発見ができ、除去手術をすれば完治してしまいます。検診率を上げればがんを防げるのです。

## 十七、ベンチャー企業の誘致

市民ファンドを作り、ベンチャー企業を誘致する事業を推進。国の研究開発費や技術開発費の補助金を活用し、産業振興を推進。

## 十八、障がい者の自立支援

障がい者に国の補助制度を利用して事業を展開。障がい者が主力の職場づくり。障がい者の自立支援事業。

## 十九、少子化問題の解決の秘策

五年後、一〇年後を見据えた事業を今取り組まなければ人口減少は止められませぬ。保育園の待機児童をゼロにしたら、少子化は止まるでしょうか。女性も働く場の確保をしたら、少子化は止まるでしょうか。深刻な問題です。

発想の転換し、企業に保育休暇を三年間義務づけたらどうでしょう。企業に復職の義務化をお願いし、休暇中はスキルを落とさないため、自宅研修をしてもらう。職場復帰の準備。三年間の休暇中は自治体が国の予算で休暇取得者の収入の補てんする保育休暇手当を支給する。

三歳児までの保育園の待機があるわけで、四歳児以降は余裕がある状態です。自治体が保育園に保育児童一人当たり運営費として補助金を出している額は年間百五十七万円です。三歳児未満の子供には二百五十万円です。保育休暇を取った人に月額十五万円補助すれば、保育園に預けて仕事に出ると同等の収入になるのではないのでしょうか。保育園の保育料も掛かりません。愛情を十分かけて育てられます。

この制度が実現すれば二人目、三人目のお子さんを生み、育てようとする家庭が増えるはずですよ。少子化問題の対策に効果大。三歳までの子育てを親がすれば、新たに保育園を作る必要がなくなります。キャリアを大事にする方は仕事を続けてもらえばいいわけです。非正規やパートで働く方は、この方法を取るのも有利なことになります。

思い切って国の方針を変えて、この三年間の保育休暇の義務付けと、併せて、保育手当の法制化をしていただきたいと思いますし、国に推進することを働きかけていきたいと思います。

## 政治家に望むこと

市民、国民にとって、幸せに結びつく政策とはどんなものか。

その発想と企画、その実行をできる人。そんな政治家を選挙で選びましょう。

十六年間で支援有難うございました。